

私たちがめざすもの それは・・・

ゆたかな緑 きれいな水 いきた大地

NPO法人水環境研究所

わきみず通信

第14号

平成25年9月1日発行



飯岡層のシルト層割れ目から大量に出ています。(銚子市春日台)

活動レポート

🌿 臼井のわき水見て歩き (平成25年1月26日)

臼井公民館主催の企画で、一般募集した市民を対象に臼井駅周辺の湧水地を案内しました。開発により市街化が著しい臼井駅周辺を過去の空中写真をもとに、京成電鉄の開発によって人工的に流出している稲荷台湧水、水質汚濁が深刻な手繰川、そして国道沿いにある徳川家康ゆかりの湧水「権現水」の3ヵ所を巡りました。雪が舞い散る寒い一日でしたが、大勢の参加者とともに楽しい時間を過ごすことが出来ました。



パケットテストを使った水質測定「稲荷台の湧水」

🌿 佐倉学び塾「佐倉市の水環境と私たちの暮らし」(平成25年2~3月)

佐倉市教育委員会が募集した「佐倉学び塾」市民講師に応募したところ、採用された企画です。和田公民館を会場に、野外学習を含む3回シリーズの講座です。

1回目(2月9日)は座学で、岩井会員が「水の基礎知識」と「和田地区の水環境」について話しました。2回目(2月16日)は地域住民の大川氏の案内で地区の湧水や谷津を観察しました。3回目(3月2日)は白鳥会員、岩井会員による基調講演の後、受講者との意見交換をおこないました。いずれの講座も受講者から熱心な意見や質問が飛び交い、手ごたえを感じた講座でした。今回の講座を機に、9月に和田公民館で開催される「地域塾」の講師依頼を受けました。



「道祖神の湧水」の風景

🌿 巡検「海匠・銚子の湧水めぐり」 (平成25年1月19日)

平成24年秋に実施した「酒々井町の湧水めぐり」に引き続き、田村会員、岩井会員、松岡会員の案内で「海匠・銚子の湧水巡り」行いました。参加者は5名でした。海匠では斜面沿いに浸み出す湧水を地元の方々が保全し、有効活用している状況を見ることが出来ました。また、銚子では飯岡層群のシルト層から瀧のごとく勢いよく流出する湧水には感嘆の声が上がりました。今回の巡検により2地点が湧水モニタリング地点として加わることになります。昼食は、刑部岬で地魚料理を堪能し、さらに松岡会員の案内で両総用水東金円筒分水工もおまけで見ることができ、楽しい一日でした。



こんなにシジミが採れました。横芝光町で

🌿 佐倉学講座 「印旛沼の自然 佐倉市の湧水」(平成 25 年 2 月 23 日)

例年依頼されている中央公民館主催の佐倉学講座「印旛沼の自然」で約 2 時間に渡り講演をおこないました、今年のテーマは「佐倉市の湧水」。講師は、今橋理事長と田村理事が務め、それぞれ「湧水の水質」、「湧水と地質環境」について、話しました。熱心な参加者から厳しい質問もあり、さすがの先生方もたじたじ?でした。

🌿 平成 25 年度第 1 回畔田沢調査 (平成 25 年 8 月 25 日)

印旛沼環境基金の助成事業として始めた畔田沢水環境調査も今年で 4 年目を迎えました。猛暑が続き熱中症の心配があることから、1 週間延期して実施しました。前日の天候とは打って変わって、朝から土砂降り、しかし気まぐれな雲行きのお蔭な晴○の気迫に負けたのか、曇り空の涼しい気候の中調査を終えることができました。猛暑と少雨のせいなのか、源流部は見事に涸渇していました。でも中流部の湧水は、いつもと同じくらいの流量がありました。同じ湧水でも涵養域の環境で違いが出るのでしょうか? 今年度は、民家井戸も調査対象に加わり、ますます、畔田沢の調査も進化し続けています。なお、過去 3 年間の成果を報告書にまとめました。そちらも皆さんにお届けいたします。



志津霊園の水路で見つけたクサガメ

活 動 報 告 (平成 24 年 12 月～平成 25 年 8 月)		
平成 24 年 12 月 2 日	畔田沢冬季調査・運営理事会	オークラ千葉 H
12 月 8 日	湧水モニタリング調査	奥東京湾エリア
12 月 9 日	湧水モニタリング調査	印旛沼エリア
平成 25 年 1 月 7 日	運営理事会	オークラ千葉 H
1 月 19 日	第 2 回湧水巡検	銚子・海匝方面
1 月 23 日	印旛沼環境基金助成事業成果報告会	印旛合同庁舎
1 月 26 日	「臼井湧水見て歩き」	佐倉市臼井公民館
2 月 4 日	運営理事会	オークラ千葉 H
2 月 9 日 2 月 16 日 3 月 2 日	佐倉学びあい講座「佐倉市の水環境と私たちの暮らし」	佐倉市和田公民館
2 月 23 日	佐倉学セミナー「印旛沼の自然」	佐倉市中央公民館
4 月 1 日	運営理事会	オークラ千葉 H
4 月 19 日	第 10 回理事会	佐倉市志津公民館
5 月 23 日	運営理事会	オークラ千葉 H
5 月 20 日	第 12 回通常総会・湧水モニタリング打合せ	佐倉市志津公民館
6 月 23 日	運営理事会	オークラ千葉 H
7 月 1 日	運営理事会	オークラ千葉 H
8 月 7 日	運営理事会	オークラ千葉 H
8 月 25 日	畔田沢調査(夏季)	佐倉市下志津地区

出かけてみませんか？



じまんの街

「たっぷり散策

六郷湧水群」

富山県黒部市

環境庁が昭和 60 年に選定した名水百選で選ばれている湧水群です。秋田県仙北郡美郷町六郷にあり奥羽山脈を源とする丸子川の扇状地末端に発達しています。〇〇湧水群とは火山山麓や扇状地末端によく見られますが、ここも例外ではありません。ちょっと違うのは、比較的コンパクトなので、駐車場に車を置いて、ゆっくり見て回ることができるのです。

環境庁は御台所清水を筆頭に挙げていますが、湧水群ですから実に多くの湧水地点があります。ただ、以前紹介されていた黒部川湧水群とは異なり、自噴するといった様子は見られません。あくまでも地形的な低地、凹地に湧出しています。

そんな湧水群の中を湧水起源と考えられる御伊勢堂川が流れていました。しかし、地図をトレースすると途中で消滅することから、伏流水となって雄物川に流下していると考えられます。この川の名前から想像されるように、伊勢神宮と同じように「内宮社」、「外宮社」が揃っている、はずなのですが、残念ながら私に興味はなく未確認のままです。他にも古寺が多く、コンパクトながら見どころの多い地区のようです。(文 中村正直)



御台所清水

水は写真左の水路へ流出している。



最寄駅：JR奥羽本線飯詰駅 六郷観光情報センターまで北東におよそ 4km

*****ぶらり 六郷のおすすめ*****

イバラトミヨという淡水魚(氷河期のレリック種)が生息している池があるようです。

物産やお食事処といったたぐいのものは、残念ながら記憶に残りませんでした。WEB によれば「ニテコサイダー」「ラベンダーアイス」があるそうです。ここはやはり、「湧水見て歩き」とともに、東北の一地方の町を歩くといった時間の過ごし方が良いでしょう。

環境省サイト：<https://www2.env.go.jp/water-pub/mizu-site/meisui/data/index.asp?info=10>

美郷町サイト：<http://www.town.misato.akita.jp/misatochoukankou/sisetumeisho/yuusui/yuusui-top.asp>

六郷湧水群マップ：<http://www.town.misato.akita.jp/download/2228/shimizupanfu.pdf>

<http://www.town.misato.akita.jp/misatochoukankou/sisetumeisho/yuusui/yuusui-map.asp>



←久米清水

地元の生活に密着している姿が残っていた。



道路にある湧水の案内サイン→

印旛郡誌に見る湧水と人々（1）

養老伝説のある湧水その1

印旛沼流域の湧水は、印旛沼にとって大切な水源です。印旛沼からくみ上げて使っている水道水 農工業用水の多くは、湧水を水源としています。昔の人々にとって湧水は現代以上に大切な存在であり、生活用水や田んぼの灌漑用水として不可欠のものでした。

一昔前の湧水に関する記事は、大正2年（1913）に発行された印旛郡誌にたくさん載っています。その記事を見ると、大切な湧水を知らぬ間に保全する仕掛けをもっていました。それは、湧水に物語をつけて親しみのもてるようにしたり、有名人物の名前や神様仏様のご威光を借りたりして、湧水を身近に感じられるようにすることでした。湧水と向き合う当時の人々の思いを印旛郡誌の記事を中心に垣間見ることにしましょう。

親孝行息子が清水を汲んできて酒好きの父親に飲ませると、水が酒になって父親は酔って上機嫌になったという養老伝説は、清水のおいしさ ありがたさを象徴するお話であり、人々に親しまれ普及したようです。

★子は清水（旧和田村直弥 現佐倉市）

「直弥村に一孝子あり。父すこぶる酒を好む。子 薪(マキ)を集めて酒の資に代えるを常とす。至誠天地を動かし、養老の滝の故事を現出せり。今、「子は清水」と称す旧家あり。当主を桜井幾太郎という。この家の小池こそ当時酒の湧出せること限りなかりしと伝う」とあります。

現在は、桜井氏宅に水の湧きだした池の跡だけがみられ、水は涸れています。当主も代替わりしています。

★子は清水（旧安食町龍角寺 現栄町）

「龍角寺区にある古井なり。養老の故事を出現したところと伝う。今も滔々として湧き出でて干天にも涸れることなし」とあります。「ちば湧水めぐり」には、「親は古酒子は清水」として紹介されています。

この清水は、現在も涸れることなく自家用の生活用水として使っています。夏に冷たく冬に温かい湧水は、使い心地がよいそうです。

なお、この湧水は、奈良時代初期に建立された龍角寺の周辺にある「八つ井戸」の一つです。いずれも谷津の台地裾にあります。その頃から近くに集落があって、湧水は人々の生活用水として使われていたと思われます。



（白鳥孝治）

活動カレンダー（平成25年9月～11月）							
9月1日現在の予定です。印旛沼流域の湧水定期調査については別途案内しています。							
月	月	火	水	木	金	土	日
9月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	運営理事会						
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
			地域塾 「湧水を見よう」 和田公民館			湧水調査 (今井・岩井) 酒々井ほか新規	湧水調査 (今井・岩井) 酒々井ほか新規
	30						
10月		1	2	3	4	5	6
	運営理事会		地域塾 「湧水を見よう」 和田公民館			湧水調査 (瀧・田村) 外房エリア (今井・岩井) 酒々井ほか新規	湧水調査 (瀧・田村) 外房エリア (今井・岩井) 酒々井ほか新規
	7	8	9	10	11	12	13
						(松岡・山濱) 九十九里エリア	(松岡・山濱) 九十九里エリア
	14	15	16	17	18	19	20
	(松岡・山濱) 九十九里エリア						
	21	22	23	24	25	26	27
						公開学習会 「水と暮らし」 佐倉市立美術館	
28	29	30	31				
11月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
		運営理事会				湧水調査 (瀧・岩井チーム) 手賀沼エリア	湧水調査 (瀧・岩井チーム) 手賀沼エリア
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29			

青文字は予備日です。また、活動の追加、変更、中止については皆様にメールでご案内します

皆で活動に参加しよう！

カレンダーに掲載された活動（運営理事会を除く）はどなたでも参加自由です。参加される方はメール、又は電話等により事務局までお申し込みください。集合場所、時間等についてご連絡申し上げます。

メール：k u b i _ 0 9 2 9 @ y a h o o . c o . j p （岩井宛て）電話：080-6515-6497

運営理事会だより

(1) 印旛沼環境基金助成事業について

平成 25 年度は「畔田沢の水環境状況調査その 4」として申請し、印旛沼環境基金からの助成金約 13 万円が確定しました。今年度はこれまでの継続調査に加え、過去 3 年間の調査結果をとりまとめた報告書を発行します。

本年度の調査予定は以下の通りです。

第 1 回目：夏季調査 平成 25 年 8 月 25 日（現地水質調査。植生調査、水生生物調査）

第 2 回目：冬季調査 平成 25 年 12 月上旬（現地水質調査。試料採取、流量測定、植生調査、水生生物調査）

今年度は、民家の井戸調査も予定しております。

本調査は、当 NPO の自主研究事業に位置付けられておりますが、できるだけ多くの会員の皆様に参加していただけますようお願い致します。

(2) 公開学習会「みんなで学ぶ印旛沼セミナー 水とくらし」

今回は、外部講師として小倉紀雄先生をお招きし、水のお話をさせていただきます。

平成 25 年 10 月 26 日(土) 午後 1:30~4:00 (1:00 開場) 入場無料

会場：佐倉市立美術館 4 階ホール 皆様 ぜひご参加ください。

(3) 湧水モニタリング調査について

9 月から各エリア別に湧水調査が始まります。各コースのスケジュールは本誌スケジュール表及びメールでご案内しますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。

(4) 年報第 3 号について

年報第 3 号の発行に向けて、瀧会員を中心として準備が始まりました。発行予定は平成 26 年 10 月の予定です。

(5) 和田公民館主催「地域塾」

当研究所が佐倉市和田地区の湧水を巡る水環境をテーマとするセミナーに講師として参加します。野外学習ですので、会員の皆様のお手伝いをお願い致します。

平成 25 年 9 月 25 日(水) 午前 9:00~12:00 和田公民館集合

印旛沼流域湧水定期調査のご案内

毎月印旛沼流域の湧水調査を実施しております。調査に参加をご希望される方は、事前に堀田和弘理事 (E-Mail: dzf01212@nifty.ne.jp) に直接ご連絡のうえ、日程、集合場所、集合時間等をご確認ください。

事務局より会費納入のお願い：平成 25 年度会費未納の方は、お支払いをお願いいたします。

お支払方法：銀行振り込み（振込先 千葉銀行 本店営業部（普通）3706977

又は事務局へ直接（080-6515-6497）

本法人は皆様の会費により運営されており、活動に伴う消耗品や活動参加者への交通費、日当等に充てられています。どうぞ会員の皆様方には、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

「わきみず通信」第 14 号

発行 平成 25 年 9 月 1 日

編集・著作 特定非営利活動法人水環境研究所

URL: <http://www.wakimizu.org/>

お問い合わせは下記まで

e-mail: office_iwe@wakimizu.org

*****編集後記*****

約 8 か月ぶりの「わきみず通信」となりました。事務局として反省しきり m()m。私ごとですが、この夏久々に遠出のドライブをし、以前、本誌で紹介された念願の黒部川扇状地湧水群（の一部）や大野の湧水を見てきました。「所変われば水変わる」のことわざ？どおり、千葉の湧水と一味違う湧水を体感してまいりました。機会があれば皆さんにもぜひ紹介したいと思います。

私たちがめざすもの それは・・・

ゆたかな緑 きれいな水 いきた大地

NPO法人水環境研究所

わきみず通信

第14号

平成25年9月1日発行



飯岡層のシルト層割れ目から大量に出ています。(銚子市春日台)

活動レポート

🌿 臼井のわき水見て歩き (平成25年1月26日)

臼井公民館主催の企画で、一般募集した市民を対象に臼井駅周辺の湧水地を案内しました。開発により市街化が著しい臼井駅周辺を過去の空中写真をもとに、京成電鉄の開発によって人工的に流出している稲荷台湧水、水質汚濁が深刻な手繰川、そして国道沿いにある徳川家康ゆかりの湧水「権現水」の3カ所を巡りました。雪が舞い散る寒い一日でしたが、大勢の参加者とともに楽しい時間を過ごすことが出来ました。



パケットテストを使った水質測定 「稲荷台の湧水」

🌿 佐倉学び塾「佐倉市の水環境と私たちの暮らし」(平成25年2~3月)

佐倉市教育委員会が募集した「佐倉学び塾」市民講師に応募したところ、採用された企画です。和田公民館を会場に、野外学習を含む3回シリーズの講座です。

1回目(2月9日)は座学で、岩井会員が「水の基礎知識」と「和田地区の水環境」について話しました。2回目(2月16日)は地域住民の大川氏の案内で地区の湧水や谷津を観察しました。3回目(3月2日)は白鳥会員、岩井会員による基調講演の後、受講者との意見交換をおこないました。いずれの講座も受講者から熱心な意見や質問が飛び交い、手ごたえを感じた講座でした。今回の講座を機に、9月に和田公民館で開催される「地域塾」の講師依頼を受けました。



「道祖神の湧水」の風景

🌿 巡検「海匠・銚子の湧水めぐり」 (平成25年1月19日)

平成24年秋に実施した「酒々井町の湧水めぐり」に引き続き、田村会員、岩井会員、松岡会員の案内で「海匠・銚子の湧水巡り」行いました。参加者は5名でした。海匠では斜面沿いに浸み出す湧水を地元の方々が保全し、有効活用している状況を見ることが出来ました。また、銚子では飯岡層群のシルト層から瀧のごとく勢いよく流出する湧水には感嘆の声が上がりました。今回の巡検により2地点が湧水モニタリング地点として加わることになります。昼食は、刑部岬で地魚料理を堪能し、さらに松岡会員の案内で両総用水東金円筒分水工もおまけで見ることができ、楽しい一日でした。



こんなにシジミが採れました。横芝光町で

🌿 佐倉学講座 「印旛沼の自然 佐倉市の湧水」(平成 25 年 2 月 23 日)

例年依頼されている中央公民館主催の佐倉学講座「印旛沼の自然」で約 2 時間に渡り講演をおこないました、今年のテーマは「佐倉市の湧水」。講師は、今橋理事長と田村理事が務め、それぞれ「湧水の水質」、「湧水と地質環境」について、話しました。熱心な参加者から厳しい質問もあり、さすがの先生方もたじたじ?でした。

🌿 平成 25 年度第 1 回畔田沢調査 (平成 25 年 8 月 25 日)

印旛沼環境基金の助成事業として始めた畔田沢水環境調査も今年で 4 年目を迎えました。猛暑が続き熱中症の心配があることから、1 週間延期して実施しました。前日の天候とは打って変わって、朝から土砂降り、しかし気まぐれな雲行きのお蔭な晴○の気迫に負けたのか、曇り空の涼しい気候の中調査を終えることができました。猛暑と少雨のせいなのか、源流部は見事に涸渇していました。でも中流部の湧水は、いつもと同じくらいの流量がありました。同じ湧水でも涵養域の環境で違いが出るのでしょうか? 今年度は、民家井戸も調査対象に加わり、ますます、畔田沢の調査も進化し続けています。なお、過去 3 年間の成果を報告書にまとめました。そちらも皆さんにお届けいたします。



志津霊園の水路で見つけたクサガメ

活 動 報 告 (平成 24 年 12 月～平成 25 年 8 月)

平成 24 年 12 月 2 日	畔田沢冬季調査・運営理事会	オークラ千葉 H
12 月 8 日	湧水モニタリング調査	奥東京湾エリア
12 月 9 日	湧水モニタリング調査	印旛沼エリア
平成 25 年 1 月 7 日	運営理事会	オークラ千葉 H
1 月 19 日	第 2 回湧水巡検	銚子・海匝方面
1 月 23 日	印旛沼環境基金助成事業成果報告会	印旛合同庁舎
1 月 26 日	「臼井湧水見て歩き」	佐倉市臼井公民館
2 月 4 日	運営理事会	オークラ千葉 H
2 月 9 日 2 月 16 日 3 月 2 日	佐倉学びあい講座「佐倉市の水環境と私たちの暮らし」	佐倉市和田公民館
2 月 23 日	佐倉学セミナー「印旛沼の自然」	佐倉市中央公民館
4 月 1 日	運営理事会	オークラ千葉 H
4 月 19 日	第 10 回理事会	佐倉市志津公民館
5 月 23 日	運営理事会	オークラ千葉 H
5 月 20 日	第 12 回通常総会・湧水モニタリング打合せ	佐倉市志津公民館
6 月 23 日	運営理事会	オークラ千葉 H
7 月 1 日	運営理事会	オークラ千葉 H
8 月 7 日	運営理事会	オークラ千葉 H
8 月 25 日	畔田沢調査(夏季)	佐倉市下志津地区

出かけてみませんか？



じまんの街

「たっぷり散策

六郷湧水群」

富山県黒部市

環境庁が昭和 60 年に選定した名水百選で選ばれている湧水群です。秋田県仙北郡美郷町六郷にあり奥羽山脈を源とする丸子川の扇状地末端に発達しています。〇〇湧水群とは火山山麓や扇状地末端によく見られますが、ここも例外ではありません。ちょっと違うのは、比較的コンパクトなので、駐車場に車を置いて、ゆっくり見て回ることができるのです。

環境庁は御台所清水を筆頭に挙げていますが、湧水群ですから実に多くの湧水地点があります。ただ、以前紹介されていた黒部川湧水群とは異なり、自噴するといった様子は見られません。あくまでも地形的な低地、凹地に湧出しています。

そんな湧水群の中を湧水起源と考えられる御伊勢堂川が流れていました。しかし、地図をトレースすると途中で消滅することから、伏流水となって雄物川に流下していると考えられます。この川の名前から想像されるように、伊勢神宮と同じように「内宮社」、「外宮社」が揃っている、はずなのですが、残念ながら私に興味はなく未確認のままです。他にも古寺が多く、コンパクトながら見どころの多い地区のようです。(文 中村正直)



御台所清水

水は写真左の水路へ流出している。



最寄駅：JR奥羽本線飯詰駅 六郷観光情報センターまで北東におよそ 4km

*****ぶらり 六郷のおすすめ*****

イバラトミヨという淡水魚(氷河期のレリック種)が生息している池があるようです。

物産やお食事処といったたぐいのものは、残念ながら記憶に残りませんでした。WEB によれば「ニテコサイダー」「ラベンダーアイス」があるそうです。ここはやはり、「湧水見て歩き」とともに、東北の一地方の町を歩くといった時間の過ごし方が良いでしょう。

環境省サイト：<https://www2.env.go.jp/water-pub/mizu-site/meisui/data/index.asp?info=10>

美郷町サイト：<http://www.town.misato.akita.jp/misatochoukankou/sisetumeisho/yuusui/yuusui-top.asp>

六郷湧水群マップ：<http://www.town.misato.akita.jp/download/2228/shimizupanfu.pdf>

<http://www.town.misato.akita.jp/misatochoukankou/sisetumeisho/yuusui/yuusui-map.asp>



←久米清水

地元の生活に密着している姿が残っていた。



道路にある湧水の案内サイン→

印旛郡誌に見る湧水と人々（1）

養老伝説のある湧水その1

印旛沼流域の湧水は、印旛沼にとって大切な水源です。印旛沼からくみ上げて使っている水道水 農工業用水の多くは、湧水を水源としています。昔の人々にとって湧水は現代以上に大切な存在であり、生活用水や田んぼの灌漑用水として不可欠のものでした。

一昔前の湧水に関する記事は、大正2年（1913）に発行された印旛郡誌にたくさん載っています。その記事を見ると、大切な湧水を知らぬ間に保全する仕掛けをもっていました。それは、湧水に物語をつけて親しみのもてるようにしたり、有名人物の名前や神様仏様のご威光を借りたりして、湧水を身近に感じられるようにすることでした。湧水と向き合う当時の人々の思いを印旛郡誌の記事を中心に垣間見ることにしましょう。

親孝行息子が清水を汲んできて酒好きの父親に飲ませると、水が酒になって父親は酔って上機嫌になったという養老伝説は、清水のおいしさ ありがたさを象徴するお話であり、人々に親しまれ普及したようです。

★子は清水（旧和田村直弥 現佐倉市）

「直弥村に一孝子あり。父すこぶる酒を好む。子 薪(マキ)を集めて酒の資に代えるを常とす。至誠天地を動かし、養老の滝の故事を現出せり。今、「子は清水」と称す旧家あり。当主を桜井幾太郎という。この家の小池こそ当時酒の湧き出せること限りなかりしと伝う」とあります。

現在は、桜井氏宅に水の湧きだした池の跡だけがみられ、水は涸れています。当主も代替わりしています。

★子は清水（旧安食町龍角寺 現栄町）

「龍角寺区にある古井なり。養老の故事を出現したところと伝う。今も滔々として湧き出でて干天にも涸れることなし」とあります。「ちば湧水めぐり」には、「親は古酒子は清水」として紹介されています。

この清水は、現在も涸れることなく自家用の生活用水として使っています。夏に冷たく冬に温かい湧水は、使い心地がよいそうです。

なお、この湧水は、奈良時代初期に建立された龍角寺の周辺にある「八つ井戸」の一つです。いずれも谷津の台地裾にあります。その頃から近くに集落があって、湧水は人々の生活用水として使われていたと思われます。



（白鳥孝治）

活動カレンダー（平成25年9月～11月）							
9月1日現在の予定です。印旛沼流域の湧水定期調査については別途案内しています。							
月	月	火	水	木	金	土	日
9月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	運営理事会						
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
			地域塾 「湧水を見よう」 和田公民館			湧水調査 (今井・岩井) 酒々井ほか新規	湧水調査 (今井・岩井) 酒々井ほか新規
	30						
10月		1	2	3	4	5	6
	運営理事会		地域塾 「湧水を見よう」 和田公民館			湧水調査 (瀧・田村) 外房エリア (今井・岩井) 酒々井ほか新規	湧水調査 (瀧・田村) 外房エリア (今井・岩井) 酒々井ほか新規
	7	8	9	10	11	12	13
						(松岡・山濱) 九十九里エリア	(松岡・山濱) 九十九里エリア
	14	15	16	17	18	19	20
	(松岡・山濱) 九十九里エリア						
	21	22	23	24	25	26	27
						公開学習会 「水と暮らし」 佐倉市立美術館	
28	29	30	31				
11月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
		運営理事会				湧水調査 (瀧・岩井チーム) 手賀沼エリア	湧水調査 (瀧・岩井チーム) 手賀沼エリア
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29			

青文字は予備日です。また、活動の追加、変更、中止については皆様にメールでご案内します

皆で活動に参加しよう！

カレンダーに掲載された活動（運営理事会を除く）はどなたでも参加自由です。参加される方はメール、又は電話等により事務局までお申し込みください。集合場所、時間等についてご連絡申し上げます。

メール：k u b i _ 0 9 2 9 @ y a h o o . c o . j p （岩井宛て）電話：080-6515-6497

運営理事会だより

(1) 印旛沼環境基金助成事業について

平成 25 年度は「畔田沢の水環境状況調査その 4」として申請し、印旛沼環境基金からの助成金約 13 万円が確定しました。今年度はこれまでの継続調査に加え、過去 3 年間の調査結果をとりまとめた報告書を発行します。

本年度の調査予定は以下の通りです。

第 1 回目：夏季調査 平成 25 年 8 月 25 日（現地水質調査。植生調査、水生生物調査）

第 2 回目：冬季調査 平成 25 年 12 月上旬（現地水質調査。試料採取、流量測定、植生調査、水生生物調査）

今年度は、民家の井戸調査も予定しております。

本調査は、当 NPO の自主研究事業に位置付けられておりますが、できるだけ多くの会員の皆様に参加していただけますようお願い致します。

(2) 公開学習会「みんなで学ぶ印旛沼セミナー 水とくらし」

今回は、外部講師として小倉紀雄先生をお招きし、水のお話をさせていただきます。

平成 25 年 10 月 26 日(土) 午後 1:30~4:00 (1:00 開場) 入場無料

会場：佐倉市立美術館 4 階ホール 皆様 ぜひご参加ください。

(3) 湧水モニタリング調査について

9 月から各エリア別に湧水調査が始まります。各コースのスケジュールは本誌スケジュール表及びメールでご案内しますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。

(4) 年報第 3 号について

年報第 3 号の発行に向けて、瀧会員を中心として準備が始まりました。発行予定は平成 26 年 10 月の予定です。

(5) 和田公民館主催「地域塾」

当研究所が佐倉市和田地区の湧水を巡る水環境をテーマとするセミナーに講師として参加します。野外学習ですので、会員の皆様のお手伝いをお願い致します。

平成 25 年 9 月 25 日(水) 午前 9:00~12:00 和田公民館集合

印旛沼流域湧水定期調査のご案内

毎月印旛沼流域の湧水調査を実施しております。調査に参加をご希望される方は、事前に堀田和弘理事 (E-Mail: dzf01212@nifty.ne.jp) に直接ご連絡のうえ、日程、集合場所、集合時間等をご確認ください。

事務局より会費納入のお願い：平成 25 年度会費未納の方は、お支払いをお願いいたします。

お支払方法：銀行振り込み（振込先 千葉銀行 本店営業部（普通）3706977

又は事務局へ直接（080-6515-6497）

本法人は皆様の会費により運営されており、活動に伴う消耗品や活動参加者への交通費、日当等に充てられています。どうぞ会員の皆様方には、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

「わきみず通信」第 14 号

発行 平成 25 年 9 月 1 日

編集・著作 特定非営利活動法人水環境研究所

URL: <http://www.wakimizu.org/>

お問い合わせは下記まで

e-mail: office_iwe@wakimizu.org

*****編集後記*****

約 8 か月ぶりの「わきみず通信」となりました。事務局として反省しきり m()m。私ごとですが、この夏久々に遠出のドライブをし、以前、本誌で紹介された念願の黒部川扇状地湧水群（の一部）や大野の湧水を見てきました。「所変われば水変わる」のことわざ？どおり、千葉の湧水と一味違う湧水を体感してまいりました。機会があれば皆さんにもぜひ紹介したいと思います。
